

## 普及活動情勢報告（平成31年4月分）

高吾農業改良普及所

### 収量・品質向上を目指して～露地ニラ栽培講習会～



苗の生育状況を確認

4月12日、いの町農業公社でJA高知県仁淀川地区管内の露地ニラ生産者を対象に、露地ニラ栽培講習会を開催しました。管内の生産者3戸を含む9戸が参加しました。

普及所からは、ネギアザミウマやネダニなどの害虫対策をテーマに、調査結果に基づく防除のタイミングなどについての説明を行いました。生産者からは、「昨年は高単価に支えられたが、今年は品質の良いニラを4回刈りたい」といった意気込みが聞かれました。

普及所は今後も、定期的な個別巡回指導を行い、生育状況の確認と病害虫対策指導を行っていきます。

### (農)沖名営農組合の活動が今年も始まりました



(農)沖名営農組合田植え開始

4月11日、日高村（農）沖名営農組合が本格的に田植えを開始しました。今年は昨年度に普及所が作成支援した組織ビジョンと作業計画に基づき活動を実施することになっています。組合員からは4～5月は主食用米及び飼料用米の田植えや、ショウガの植え付け、鳥獣害対策の柵設置等しなくてはならない作業が多いが、皆で協力して計画どおりにやっていきたいとの声が聞かれました。

普及所はこれからも定例会や巡回指導により、集落営農組織の活動を支援していきます。

### 加工用わさび収穫始まりました。



加工用わさびの調整作業

管内では4月8日から加工用わさび生産農家4戸の収穫が始まりました。今年は例年以上の暖冬であったため、わさびの生育が早く、例年よりも前倒しでの収穫となりました。

生産者からは、72穴セルトレイ苗は従来の128穴セルトレイに比べ定植もしやすく、生育が良好で、収穫量も多かったという声がありました。

今後は苗の供給先等との協議を行い、加工用わさびの安定生産・増収に向けて取り組んでいきます。

新たな茶製品の製造に向けて～佐川支所茶生産部会全員会～



半発酵茶や紅茶の製造に向け勉強中

4月12日、集落活動センター黒岩で11戸が参加し、JA高知県佐川支所茶生産部会全員会が開催され、一番茶の収穫に向け、ウーロン茶や紅茶などを製造可能な60キロラインの利用について協議しました。さらに、茶業試験場による半発酵茶や紅茶製造に向けた講習により、茶の管理方法について理解を深めました。

生産者からは、「二番茶でのウーロン茶や紅茶の製造を徐々に増やしていきたい」、「一番茶での釜いり茶も取組みたい」など、新たなラインに期待する声が聞かれました。

普及所では、今後必要となる一番茶後の整枝や施肥及び防除の徹底などについて、現地巡回等により指導するとともに、茶業試験場と連携し新商品の開発を支援していきます。